

地域名 長和町 松沢地区
 特徴的な被害対策 森林整備、遊休農地解消と防護柵の設置による侵入防止対策

1 地域の概要

集落戸数	うち農家	加害鳥獣	被害農作物等	備考

2 実施した被害対策の内容

区分	実施に当たって工夫等したポイント	
これまでの経過	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化、兼業化、獣害により、年々遊休農地が増えていた。 ・ 平成19年度に、ヤギの放牧試験を実施するとともに集落での話し合いが行われ、平成20年3月に松沢地区集落営農組合が設立された。 ・ 対策チームでは、当地区を被害対策のモデル地区と位置付け、遊休農地対策と被害対策、森林整備を一体的な取組みとして支援することとした。 ・ 遊休農地対策では、(株)クボタのeプロジェクトを導入した。 ・ 獣害対策については、松沢地域を囲う防止柵の設置する方向で野生鳥獣被害総合対策事業を導入し、20年度は沢の半分が終了した。 ・ 見通しの効かなかった里山に森林づくり県民税事業（みんなで支える里山整備事業、地域で進める里山集約化事業）を導入し、森林整備を行った。 	
被害対策	生息環境対策	緩衝帯整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊休農地の刈払い及びソバの植栽 ・ 忌避作物（ワラビ）の植栽 ・ 隣接森林の除間伐
	防除対策	防護柵の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 松沢地域を囲む防護柵を2ヵ年計画で設置（H20～21年度） ・ ソバ畑へ、ほ場ごとに各種防護柵を設置
効果	被害状況	防護柵の設置が半分だけであったため、未設置部分からの進入が多く、効果については判断困難。
	その他特記事項	ほ場ごとに設置した各種防護柵では被害が防止できた。
住民の方からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 獣害防止柵の設置と森林整備、遊休農地解消により松沢地区がよみがえったので、再び遊休農地に戻らないよう維持管理していきたい。 	

3 これからの課題

失敗した事柄	
これからの課題	<ul style="list-style-type: none">・ 防止柵の管理を検討中・ モデル地区としての成果の波及

4 成功に至ったポイント

野生鳥獣被害 対策支援チ ーム	
-----------------------	--

5 問合せ先

上小地区野生鳥獣被害対策チーム
(上小地方事務所林務課 電話 0268-25-7137)

事前調査、打合せの状況

	
現地での打合せ	現地確認と測量

防護柵設置

	
対策チームと地元の方による作業	防護柵(右側)と簡易電気柵(左側)



簡易電気柵 + 防草シート



環境整備



遊休農地刈払いのデモ



除間伐